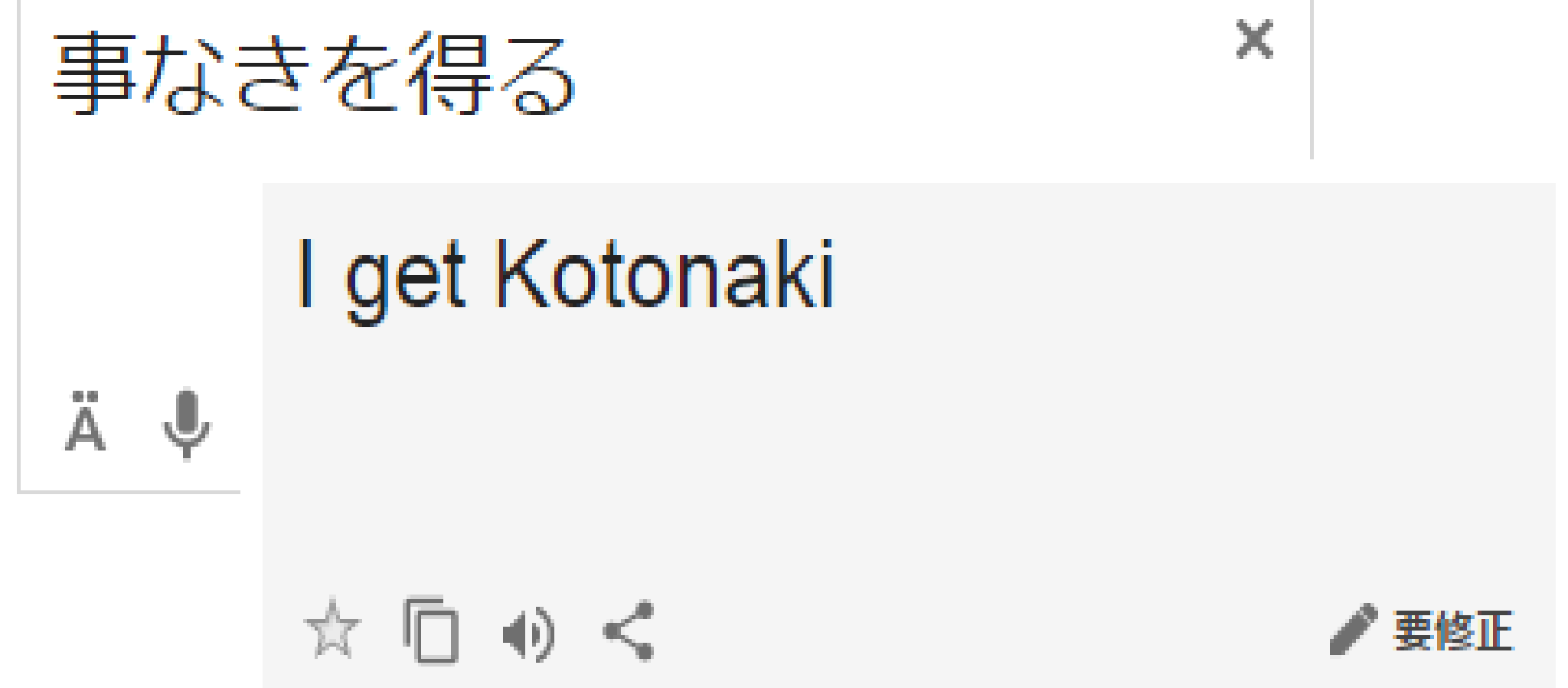


# 「言語グリッド」で国際活動支援！

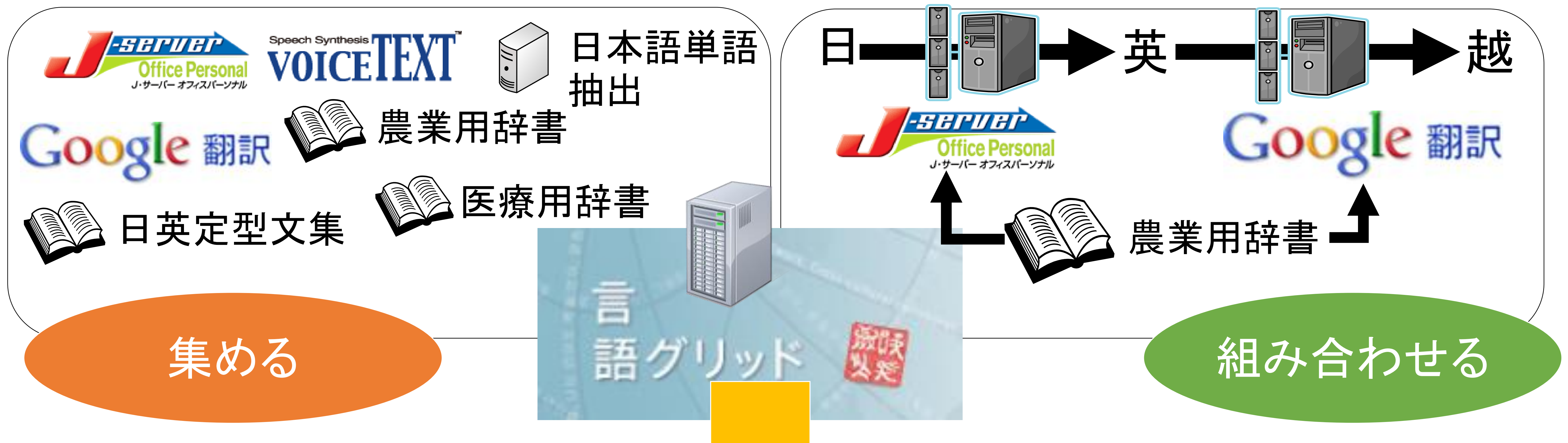
京都大学大学院情報学研究科 石田松原研究室 言語グリッドプロジェクトチーム (<http://langrid.org/>)

インターネットの言語サービスを集めて組み合わせる「言語グリッド」

自動翻訳はまだ  
実用に堪えない



言語グリッド: 集めた言語サービスを組み合わせる品質を上げる



言語グリッドを使って実際の国際活動の現場を支援！

インターネットを介した農業支援 (2011-2014)

日本人稲作専門家がベトナム人農家に子供を介して  
農業知識を送る。ベトナム南部ヴィンロン省で実施。



実際に現地に行って活動



実証実験のため15組  
のノートPC, 携帯電話,  
その他機材を配布



事後インタビューで、15家  
族の調査に400枚(A4)もの  
インタビューシートを要した

世界の子どものワークショップ (2014~)

日本・韓国・アメリカ・カンボジア・ケニアの子ども達が  
約一週間もの共同生活を行い、共同で作品製作



国際会議の講演をリアルタイム翻訳 (2015)

ワイズメンズクラブ国際協会 第26回アジア大会  
900人(外国人200人以上)という大規模な会議



連絡先: 情報学研究科 特定研究員 大谷雅之 (m-otani@i.kyoto-u.ac.jp)

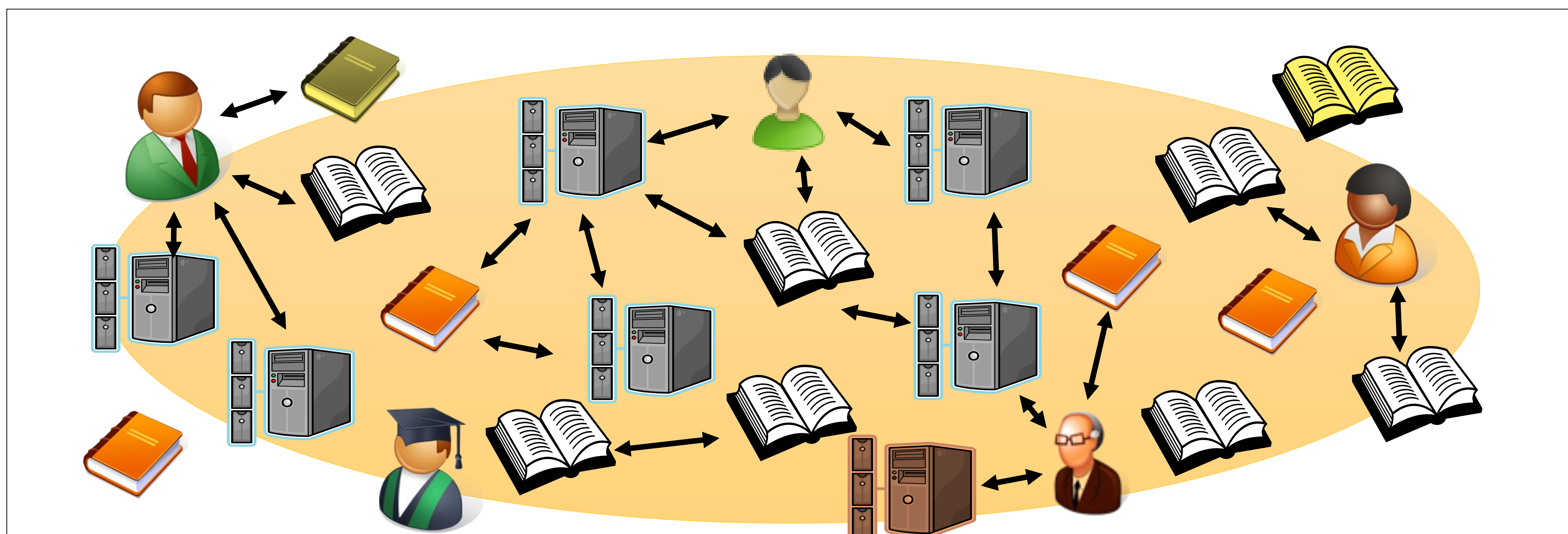
研究室のテーマ: **集合知**という考え方を使って社会の問題を解決する!

翻訳ソフトの研究ですか?

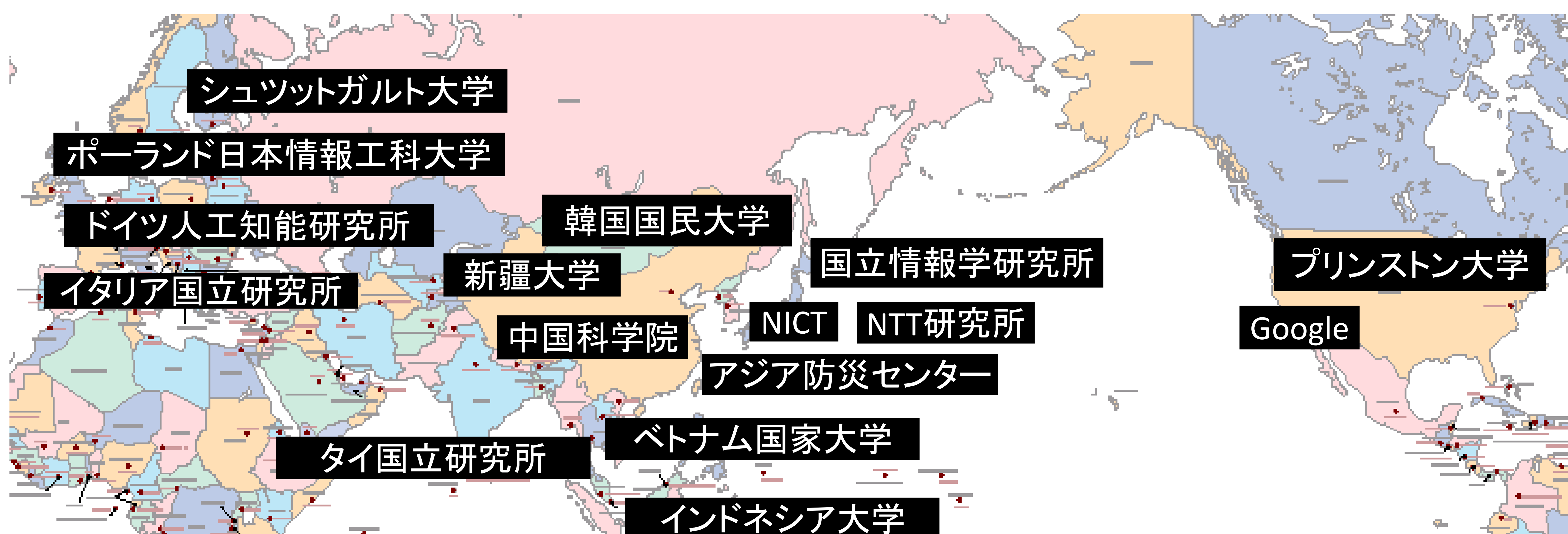
**違います! 「集合知」の研究です**

**集合知: 多人数の参加 + 知恵の蓄積 ⇒ 更なる知恵**

インターネットの利用者は30億人を超えており, 日々様々な知恵が生まれている

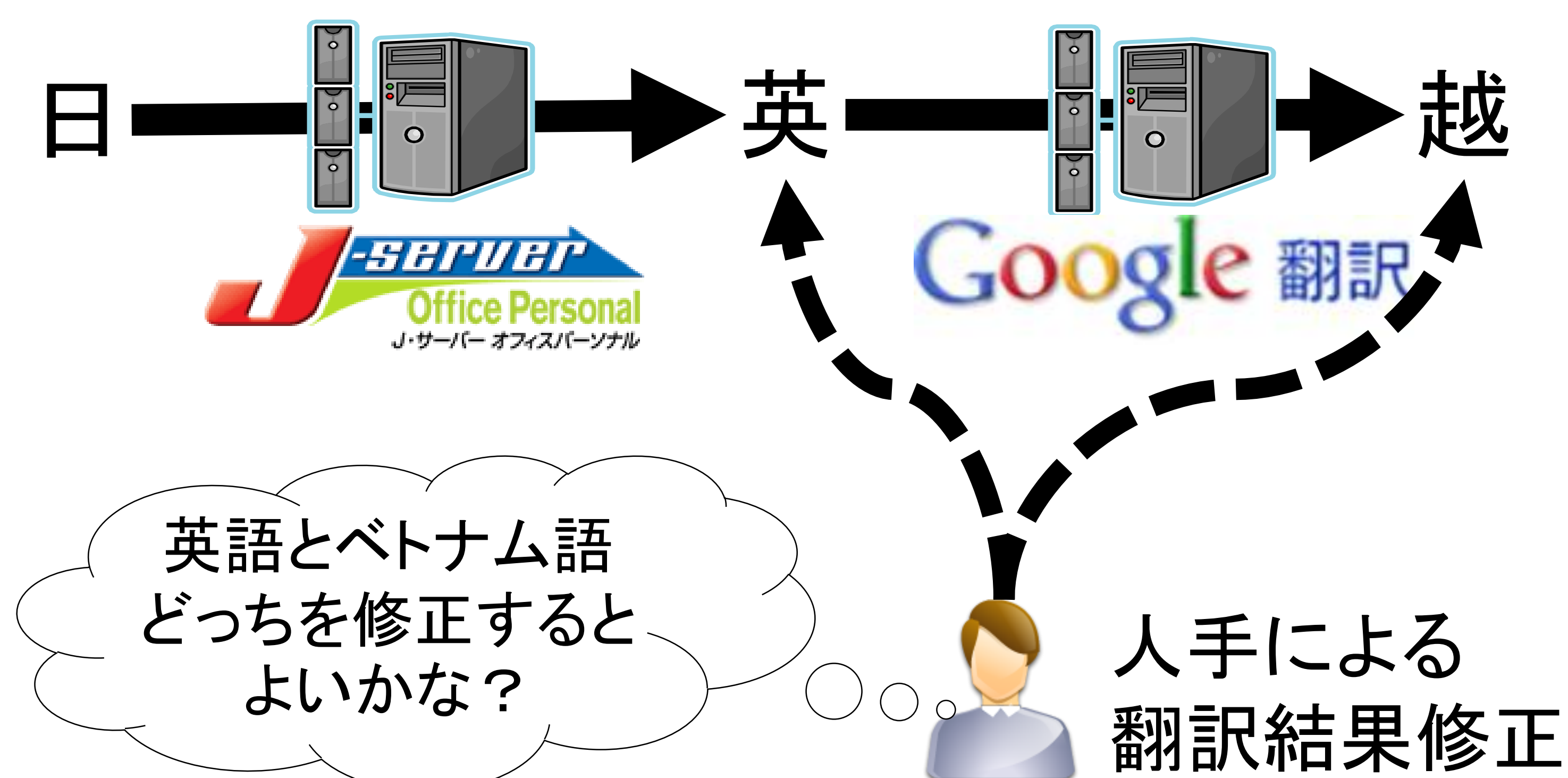


言語グリッドでは世界各地の大学・研究機関・企業(22カ国171組織)が言語サービス(228サービス)を共有し, 世界規模で集合知を構築!



言語グリッドの現場応用における研究課題の例

適したサービスの組み合わせは?



サービスの品質を最大化する  
組み合わせを発見する方法を模索

サービスが使えなくなることもある



サービスが使えなくなっても品質を  
維持したまま切り替える方法を模索